ちょっと ひと工夫

ー家庭学習改善のための情報ー

家庭学習通信　No.16
平成 28 年 5 月発行
長野県教育委員会
学力向上推進チーム
Gチーム

自ら進んで行う家庭学習をめざして①

Gチーム研究班　髙橋　廣貴（総合教育センター専門主事）

飯田市立緑ケ丘中学校では、昨年度から教職員の中で、**やらされる宿題から自ら進んで行う家庭学習へ**の改善の思いが高まってきました。そこで本年度のスタートをチャンスと捉え、研究主任が中心となり家庭学習の改善に取り組み始めました。

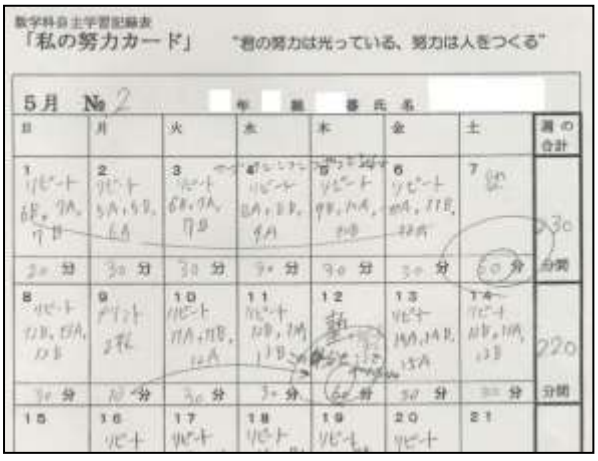
(1)全校家庭学習ガイダンスの実施

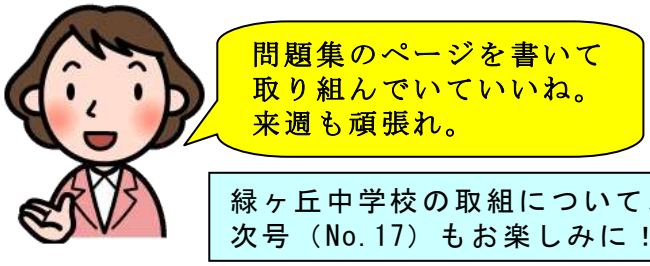
授業をより充実させ、生徒の学力を伸ばすためには、これまでの家庭学習のやり方を見直す必要があると強く感じた研究主任の提案で、４月に全校集会で「全校家庭学習ガイダンス」が行われました。やらされる宿題ではなく、自ら進んで行う家庭学習にしていこうという思いが、研究主任から全校生徒に伝えられました。それによって家庭学習への取組が、教科ごとや学級ごとではなく、**全校が同じスタートライン**に立ちました。

(2)選択できる家庭学習の内容を提示

このガイダンスでは家庭学習の内容ややり方も提案されました。やらされる宿題から脱却し、生徒が自主的に家庭学習をできるように、**各教科Ａ、Ｂ、Ｃのプラン**を示しました。「内容が決められていないから自分で工夫できる」といった生徒の声も聞かれるようになりました。

また、数学科では**記録表に自分の取組を記述していくことで、自身の家庭学習について振り返る**ことかできるようにしました。生徒は自己評価や教科担任のアドバイスをもとに取組の改善を行っていきます。（No.17 に続きます。）





緑ヶ丘中学校の取組について、次号（No.17）もお楽しみに！